

News Release

リサイクルOC電線の納入を開始

株式会社ジェイ・パワーシステムズ（代表取締役社長 下嶋清志）は、6600Vの高圧架空配電線路に使用される屋外用架橋ポリエチレン絶縁電線（OC電線）被覆材のリサイクル技術を開発し、リサイクルOC電線として東京電力株式会社殿に納入を開始しました。現場での架線作業、接続作業等の施工作業性や外観においても特に問題なく、非リサイクル品と同等との評価をいただきました。

絶縁電線の被覆材料には、主として架橋ポリエチレン、ポリエチレン、塩化ビニルの3種類があります。このうち、ポリエチレンと塩化ビニルは、既に電線被覆材料としてリサイクルされていますが、架橋ポリエチレンは、「架橋」と呼ばれる化学反応で分子を強固に結合し耐熱性を上げた材料であるため、熔融して再利用することが困難でした。このため、架橋ポリエチレン廃材は燃料としての利用や埋立処理がほとんどで、電線材料としてのリサイクルは行われてきませんでした。

ジェイ・パワーシステムズ(以下、「JPS」といいます。)は、図1に示すような「熔融剪断（せんだん）法」と呼ばれる方法を適用することにより、架橋ポリエチレン分子を切断して結合前に近い分子状態に戻す技術の開発に成功しました。これによりOC電線の被覆材料を再度電線材料として使用するリサイクルを可能としました。JPSはこの技術を他の電力会社等にもPRし拡販すると共に、他品種への適用を推進し、地球環境に貢献する企業を目指したいと考えています。

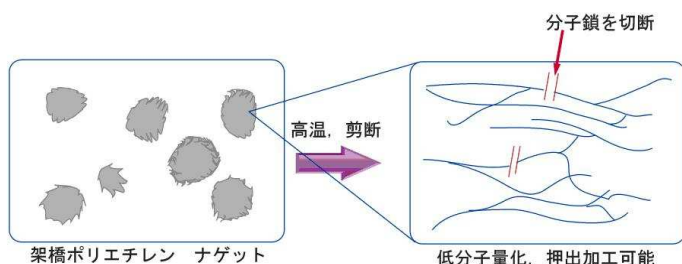


図1 熔融剪断法

混合機を用い、高温での高剪断をかけて架橋ポリエチレンの分子を切断



図2 リサイクルポリエチレンを用いて製造したOC電線の外観



図3 リサイクルOC電線の布設状況

【ジェイ・パワーシステムズの概要】

商号 株式会社ジェイ・パワーシステムズ
設立年月 2001年7月
資本金 40億円
出資比率 日立電線株式会社 50%、住友電気工業株式会社 50%
事業内容 送配電用電力ケーブル、架空送電線、付属品、関連システム等の研究開発・製造・販売・工事
本社・工場 [本社]東京都港区、[工場]茨城県日立市、大阪府大阪市
売上高 785億円（2007年3月期）

[本件に関するお問い合わせ先]

株式会社ジェイ・パワーシステムズ 総務部

Tel (03)5232-4700、 Fax (03)5232-4717

E-Mail : jpspr@jpowers.co.jp

〒108-0073 東京都港区三田 3-13-16 三田 43MTビル 8F

URL: <http://www.jpowers.co.jp>